



# 東葛支部だより

令和6年1月号  
第136号(冬季)

発行所：千葉県行政書士会東葛支部 千葉県野田市七光台 316-17 TEL：04-7129-0803

ホームページ：<https://www.tohkatsu-gyosei.jp>

発行人：伊佐 智 編集者：岩本章子 大鐘真吾 半田直子 岡田鷹幸

## 謹んで新年のご祝詞を申し上げます

東葛支部支部長 伊佐 智



千葉県行政書士会東葛支部の皆様におかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えの心からお慶び申し上げます。また、平素より事業推進に対し、あたたかいご指導とご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年3月には、総務省から、財産管理業務及び成年後見人等業務は、従来より行政書士の業務に附帯し、または密接に関連する業務であるということが明確にされる通知が出されました。また、4月に始まった相続土地国庫帰属制度では、行政書士が申請書類を作成することが認められることとなりました。私たちの行政書士制度は、様々な形で発展を続けており、これは国民の皆様の行政書士制度に対する期待の表れでもあります。この期待に応えていくためには、業務知識の研鑽の他、オンライン化・デジタル化にも、積極的に関与していく必要がございます。また同時に、国家資格者としての品位を保つため、コンプライアンスについても常に高い意識を保たなければなりません。会員の皆様におかれましては、日頃からの自己研鑽

の他、倫理向上にご協力いただき誠にありがとうございます。支部といえども、行政書士制度の発展に繋がる事業の企画・実行に努めて参ります。

今年も支部会員の皆様の期待に応えられますよう、各担当部、創意工夫を重ね事業を実施して参りますので、先生方の一層のご指導、ご助言をよろしくお願い申し上げます。

(東葛支部支部長 伊佐智)

### 令和6年新年賀詞交歓会

本年も、新年賀詞交歓会を開催いたします。新年賀詞交歓会は、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市の首長並びに東葛地区の友誼団体代表をお招きして相互協力関係を深めるとともに、会員相互の交流の場として開催しております。皆様のご出席を心よりお待ちしております。

日時：令和6年1月20日(土)

午後4時～午後5時30分

場所：ザ・クレストホテル柏 3階

オークルーム

会費：3,000円

※参加のお申込は12月20日で終了しております

(総務部部長 大澤康人)

**一般倫理研修について**  
職務上請求書の不適切な使用などに端を発し、昨年8月に一般倫理研修が、義務化されております。令和5年8月31日時点で会員である皆様の一般倫理研修受講期限は、令和6年3月31日までとなっておりますので、まだ受講されていない先生方におかれましては、お早目の受講をお願いいたします。

### 行政書士広報月間報告

昨年も10月に、広報月間活動として、各市官公署訪問および無料相談会を実施しました。

#### 1, 官公署訪問

10月8日、21日に、延べ30人の支部会員で、29ヶ所(66部署)を訪問し、広報月間の趣旨説明、ポスターの掲示依頼、相続土地国庫帰属制度説明のチラシ等を配布し、日頃の行政書士制度への

ご理解に対する御礼と、引き続き  
のご協力をお願いしました。



【我孫子市役所】



【柏市役所】



【流山市役所】



【野田市役所】



【松戸市役所】

## 2, 街頭無料相談会

昨年は、令和元年以来となる松戸  
まつり会場と、例年通り、柏駅前  
での無料相談会を開催しました。



昨年の松戸まつりは子供たちをメ  
インにする催しということで、相談  
コーナーの隣に子供向けのくじ引き  
コーナーを設けました。くじ引きコ  
ーナーは大盛況で、子供達の行列が  
絶えず、保護者の方々にチラシ等を  
配布し、行政書士制度についてご案内し、認知度向上に努めました。また、相談者も多く来場し、13名の支部会員にご協力いただき、相談件数は21件でした。



10月21日の柏会場は天気も良  
く、駅前には多くの人で賑わって  
おり、ポケットティッシュ等を配り  
ながら、行政書士制度についてア  
ピールしました。予約なしの飛び  
込み相談も多く、相談者が途切  
れない状態でした。22名の支  
部会員に協力いただき、32  
件のご相談に対応しました。



両会場ともに、開会早々から相  
談者が多数来場し、全体の84%が  
継続・遺言についての相談でした。

(市民相談部 嶽崎真里子)

## 支部研修開催報告

皆様、明けましておめでとうご  
ざいます。本年もどうぞよろしく  
お願い申し上げます。

令和5年11月25日(土)、  
第2回支部研修を開催しました。  
第2回目は許認可業務の基礎研修と

題して、東葛支部柏地区の西中と  
同柏地区の木村会員による講義の  
場とさせていただきました。許認  
可業務に入る際の留意点を具体的  
なヒアリングシート、様式、委任  
状例等を開示しながらの研修を前  
半に、後半では前半の建設業許可  
にも関連するCCUS(建設キャリ  
アアップシステム)に関する具体  
的な申請までの流れや、同業務が  
有する拡張性を講義いただきました。  
許認可業務未経験の皆様はその  
取り掛かりとしてイメージしやす  
いように、中堅以上の皆様には  
その復習も兼ねた気付きを得てい  
ただけるような内容をもって研修  
を組み立ててまいりました。今回  
は建設業関係にやや強い内容のも  
のではありましたが、基礎研修は  
行政書士業務として他の業務にも  
応用できるものであると考えてお  
りますし、ご理解いただけること  
が1つでも2つでもありましたら  
大変光栄に存じます。

支部研修はどなたが聴かれても  
プラスにできる、何か持ち帰られ  
る、そんなものを目指して進めて  
おります。また、当支部には業務  
研究会という、各業種に合わせた  
より深い議論や学びを得られる場  
もございます。ぜひ今後の各研究  
会にもそれぞれ足を運んでいただ  
き、会員となり積極的に参加いた  
だければ幸いです。情報はメルマ  
ガ等でも配信しておりますが、何  
か気になる研究会がございました  
ら担当者の方、または私までご相  
談ください。今後ともよろしくお  
願いいたします。

(研修部部长 西中慶一)

### 業務研究会開催案内

- 2月3日(土)  
第4回市民生活支援業務研究会
- 2月8日(木)18:00 パレット柏  
第3回2022建設業務研究会

## 支部親睦会

### 1, 支部親睦旅行報告

実施日：令和5年12月2日（土）

から令和5年12月3日（日）

場所：伊豆方面

宿泊先：堂ヶ島ニュー銀水

参加会員数：28名（男性22名、女性6名）



旅行当日は快晴に恵まれ、突き抜けるように澄んだ青空の中での出発となりました。バスの中では恒例の自己紹介をしながら順調に進み、最初の目的地沼津に到着。



お昼ご飯に旬で脂の乗った金目鯛釜飯御膳をいただきました。

昼食後は、修善寺を散策しました。紅葉が見ごろを迎えており、風情ある遊歩道を彩る真っ赤に色づいた木々がとても綺麗でした。

宿泊先の堂ヶ島ニュー銀水に到着すると、フロントからパノラマに広がるオーシャンビューでサンセットタイムを楽しみました。今回の旅の目玉でもある水平線に沈む夕日は、絶景そのものでした。



また夜の宴会は、和やかな雰囲気です。カラオケ大会になる

と大いに盛り上がりました。新入会員の先生が歌を披露してくれるなど、先輩後輩の垣根を越えた交流の場となり、普段の懇親会とはまた一味違う宴会を楽しむことができました。



二日目には下田市内のペリーロードを訪れ、石畳に当時の思いを馳せました。二日目も天気にも恵まれ気持ちのいい散策コースとなりました。移動中も、バスの中から海に浮かぶ伊豆諸島が良く見えダイナミックな景色を味わうことができました。昼食には鈴廣の名物おでんに舌鼓を打ち、「今度はプライベートでも訪れたい」との声も聞くことができました。旅を締めくくるには最適な場所となりました。



ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。コロナ禍以降4年ぶりとなる一泊二日の親睦旅行となりましたが、旅行は本当に素晴らしいものですね。本年も皆様のご参加を心よりお待ちしております。



(親睦部 本田恵)

### 2, 親睦旅行に参加して

松戸地区 川崎厚志

#### 『いちど会ったらともたちで』

#### 『まいにち会ったら きょうだいだ』

これは、20年以上前の、NHK『おかあさんといっしょ』の『ドレミファ・どーなっつ!』という歌詞の一部です。

現実的には一度会っただけで友人関係を築くというのは難しい事であり、ましてや信頼関係に至ることは更に困難です。

関係を築く上での方法は様々ですが、新人の私にとって支部の各種事業に参加するというのもその一つであり、今回支部旅行に参加させていただきました。

いつもお世話になっている方、初めてお会いした方、何度かお会いして初めてお話しさせていただいた方等々、とても良い機会となりました。

企画していただきました親睦部をはじめ、参加された皆様ありがとうございました。

また、今後ともよろしく願いたします。

最後に、伊豆良かったです。



### 建設キャリアアップシステムと行政書士の役割(1)

柏地区 木村亮一

#### (1) 建設キャリアアップシステムが作られた背景

建設業界における担い手不足は他産業に比べても深刻といわれている。特に現場作業に従事する技能者の高齢化が顕著であり、若手

の新規入職が少なく、定着率も低い。国土交通省の推計によると、60歳以上の割合が25%を超え10年後までに大量離職が見込まれる一方、それを補う20代以下の若手入職者の割合は10%程度にとどまっている。更に2024年問題（時間外労働の上限規制の適用）、2025年問題（団塊の世代の引退）等による影響も待ったなしである。

建設業は、「インフラ」や「まち」「すまい」をつくりメンテナンスする担い手であると同時に、地域経済・雇用を支え、災害時には最前線で地域社会の安全・安心の確保を担う地域の守り手として、国民生活や社会経済を支える大きな役割を担っている。今後も将来にわたってその役割を果たしていくためには、生産性向上をはかりつつ、担い手の確保・育成を行うことが急務である。

こうした背景等から、官民一体となった様々な施策（法・制度改正、働き方改革、デジタル技術活用等）により、生産性向上（効率化、省力化、省人化等）が目指されているところであるが、とりわけ担い手の確保・育成への取り組みは重要といえる。

建設業界の担い手不足の原因のひとつとして、技能者は異なる元請事業者の様々な現場で日々働くため、個人を能力評価する業界統一の仕組みが存在せず、本人のスキルアップが処遇の向上につながらないという業界の構造的な問題があげられている。

そのため、技能者が適正な評価と処遇を受けられる環境整備が必要である。その手段の一つとして技能者の技能の「見える化」を実現するシステムが提唱され、国土交通省主導のもと官民一体で構築がなされた。それが建設キャリアア

ップシステム（以下「CCUS」という。）である。

【4月号に続く】

【参考ページ紹介】

■CCUS国土交通省ポータルサイト

[https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo\\_const\\_fr2\\_000033.html](https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/totikensangyo_const_fr2_000033.html)

■CCUSの運営状況について(2023年12月)

<https://www.ccus.jp/attachments/show/65781332-e0ec-4399-9778-3668c0a8081b>

■CCUS公式サイト

<https://www.ccus.jp/>

## 新入会員の紹介

- ① 登録年月日
- ② 事務所名称
- ③ 事務所所在地
- ④ 自己紹介



共に支部を盛り上げていきましょう

### ○北村 直美

- ① 令和5年5月1日
- ② 北村行政書士事務所
- ③ 千葉県松戸市紙敷 1-7-17
- ④ 何か人の役に立てる行政書士を目指して頑張っていきます。どうぞよろしく願いいたします。

### ○桑原 哲夫

- ① 令和5年6月1日
- ② 桑原哲夫行政書士事務所
- ③ 千葉県我孫子市湖北台 8-10-18
- ④ 故郷で開業しました。よろしく願いいたします。

### ○犬童 秀元

- ① 令和5年7月1日
- ② 犬童秀元 行政書士事務所
- ③ 千葉県柏市旭町 2-10-30-204
- ④ 建設業界に大学卒業以来45年一筋に勤務してまいりました一級建築士です♪この度大学時代取得した行政書士の資格で建設業界に貢献すべく行政書士事務所を開始致しました。5月末に積水ハウスの千葉支店を定年退職して7月より業務開始致しました。4ヶ月経過しておりますが未だに受注迄には至っておりません。地元の商工会議所や経営者の会員にはなっており日々研鑽は積んでおります♪今後共宜しくご指導ご鞭撻の程お願い申し上げます♪

### ○川崎 厚志

- ① 令和5年7月14日
- ② 川崎行政書士事務所
- ③ 千葉県松戸市松戸 1228-1
- ④ 自分のできることを精一杯やっけていきたいと思ひます。

## 支部会員の動向

(令和5年9月末現在)

個人会員	462名
法人会員	8名
<b>合計</b>	<b>470名</b>

無料相談会等では、考えている以上に来場者が多く、意外に一般の方は知らないことが多いことに気づきます。また困りごとがあり悩んでいてもどこに相談すべきかわからないという方もおられます。自身であれこれ対策してみたが、解決に至らず、相談に来られた時には大変なことになっている、ということも散見します。

千葉県行政書士会では、エンディングノートの講習会等を自治体と共に実施していく計画があるようです。予防法務として相続について考えていただくと共に身近な法律家としての行政書士を知っていただく機会としても大きな効果があるでしょう。自分の思うような良い人生のため、先を見通したアドバイスができるよう研鑽を積んでいきたいと思ひます。

(広報部 半田直子)